

「道路上の防犯灯設置について」

「対応を今後検討する」



黒木正建
議員

問 亀裂部分の防波堤としての機能が十分發揮できるよう、町としても県に要望して行きたい。

意見 今回の案件を通して国、県、町との連帯を密にしていただき町民が安心して生活できる環境づくりをしていただきたい。

亀裂部分の防波堤としての機能が十分發揮できるよう、町としても県に要望して行きたい。



照明設置が求められる生活道路(600m)

時間帯には、健康増進のウォーキングや、学生、通勤者車両等、幅広い地区内外の町民の貴重な生活道路となっている。現在、防犯灯の維持管理費用等、地区負担となっているが、本件の現場状況等をみると、道路沿いに住宅であります。朝夕の薄暗い時間帯には、健康増進のウォーキングや、学生、通勤者車両等、幅広い地区内外の町民の貴重な生活道路となっている。現在、防犯灯の維持管理費用等、地区負担となっているが、本件の現場状況等をみると、道路沿いに住宅

店舗もなく、日暮れになると暗く危険な状態になることから、その後検討してまいりたいと考えております。

◆斜面崩壊（堀割地区）の復旧工事について（国土交通省管轄）

問 現状はシートで被覆されロープで応急処置がなされているが、工事は中断している。二次災害が懸念されるが、国土交通省との協議内容を伺う。

◆海岸保全について（蚊ヶ海岸北側）

問 海岸保全施設である護岸に大規模な亀裂等が生じており、どのような対策が講じられるのか伺う。

◆建設管理

問 亀裂が大きく、ほど被災しており、県もどういった工法が良いのか検討中である。

◆地下式横穴墓二基を活用した古墳整備は、3Dモデル記録保存看板等設置を検討する

問 古墳群出土品里帰り展に係る資料については、図録、展示物の写真（一部はスライドフィルム）が残っている。観光資源、歴史的遺産として、地域政策課などの関係課と相談、検討する。

◆農地への水の確保は、農業者への給食費助成について、議員からの提案を受け、就学援助制度活用による支援を行つた所である。

問 子育て世代への支援の推進、プロジェクトを実現するため、長選挙に向けた取り組みは、年々進歩的であります。また、子育て世帯の経済的、精神的な影響暖和を図るために、町長選挙の政策は、新たな取り組みが実現されています。

高鍋議会だより

「コロナ禍における学童等への支援策は？」

3割程度出席



中村末子
議員

問 ごみ問題についてお願いする。十分考慮して予算編成をお願いする。

意見 町財政は、今まで経験したことのない厳しい財政状況に直面すると認識し、緊急的・優先的な事業のみを選択しておきたい。

問 ごみ処理に係る負担金の算定方法は。

問 市町村均等割にかかる松橋の下流にかかる樋管から取水していたが、平成29年に宮田川へ落下、現在に至っている。

◆ごみ問題についてお願いする。1月分のごみの量を毎日周知することで、ごみに対する意識が変わり、減量のきっかけになるとと思うが。

問 地区外の住民の量の報告はあるので、何らかの周知・広報を検討する。

高鍋議会だより



発掘された地下式横穴墓

マナー良く出されているごみ置き場

問 令和3年度の予算編成について、「すべての事業の見直し、事務の効率化を行う」

意見 今回の案件を通して国、県、町との連帯を密にしていただき町民が安心して生活できる環境づくりをしていただきたい。

問 令和3年度の町税収入の見込みは、新型コロナウイルスの影響で大きく減少すると推測している。財源の見積りを見誤ると大変なことになるが、その結果を組むか。

◆ごみ問題についてお願いする。十分考慮して予算編成をお願いする。

問 令和元年度は、ごみの量と処理に係る経費は。

問 ごみ問題についてお願いする。1月分のごみの量を毎日周知することで、ごみに対する意識が変わり、減量のきっかけになるとと思うが。

問 地区外の住民の量の報告はあるので、何らかの周知・広報を検討する。

問 生ごみの水分量は70～80%とと言われている。ごみを出す際の水切りに今まで以上取り組むことで、減量化になると考える。

問 不法投棄にあたる。犯罪となるという認識を深めるために、周知徹底を図る必要がある。

高鍋議会だより

(11)

令和3年2月発行（第164号）

(10)